



# 鹿田小だより



元気いっぱい 勉強こつこつ 親切ハートの  
岡山市立鹿田小学校



令和元年度 第17号 3月25日

## 1年間、ありがとうございました

3月17日(火)6年生が卒業しました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、3月2日から臨時休業になり、6年生が思い描いていたような卒業へのカウントダウンとはいきませんでした。さらに、卒業式も縮小され、来賓の方や在校生のいない卒業式となりました。そんな中でも、卒業生は、胸を張り、しっかりと前を向いて卒業していきました。立派な卒業生の態度に、「SHIKATA PRIDE」を感じました。

今から6年前、まだ小さかった体に大きなランドセルを背負って、初めて校門をくぐった日。校舎は旧校舎でした。2年生、3年生・

・と成長していくのと時を同じくして、校舎建築が始まり、そして、新校舎での学校生活。時代も平成から令和へと変わりました。時代の変化に伴って、変わっていくものがある。でも、変えてはいけないものもある。そんな話を卒業式でしました。

1～5年生にとっても、また保護者の皆様にとっても、3月は特別なものになりました。家庭で過ごす時間が長くなり、子どもたちにも保護者の皆様にも大きな負担であったと思いますが、ご理解ご協力をいただきありがとうございました。明日からは春休みです。4月からは新しい教室で、新しい友達や先生との学校生活が始まります。それまで、元気に過ごしてほしいと思います。



### 今年度最後の授業参観

1・2年生は2/18、5・6年生は2/19、3・4年生は2/21と3日に分けて、今年度最後の授業参観と学級懇談を行いました。2年生は1年間の学習の成果を発表会形式で、3年生と5年生は学級ごとに国語や理科、英語など教科の授業を参観していただきました。1年生、4年生、6年生は親子活動でした。1年生は親子ふれあいゲーム、4年生はタオルなどを使ったヨガ体操、6年生はコサージュづくりでした。6年生はお家の方と一緒に作ったこのコサージュを胸に付けて卒業式に臨みました。



1年 親子ゲーム



4年 親子ヨガ教室



6年コサージュづくり

### 6年生を送る会(2月28日にするはずでした。)

この会は、お世話になった6年生への感謝の気持ちを込めて、毎年、運営委員会の5年生が中心になって企画するものです。各学年で出し物を計画し、練習し、あとは本番を待つだけ、となっていました。残念なことに実施することができませんでした。そこで、各学年がどのような出し物をするかにしていか紹介します。

- 【1年】ペンダントのプレゼント、歌「ありがとうの花」
- 【2年】6年生のすごいところを「T」のポーズで
- 【3年】ブルゾンちえみ風のネタとミッキーマウスマーチ
- 【4年】6年へ質問形式の呼びかけと「OLA!」のダンス
- 【5年】人文字でのメッセージと「GUTS」(嵐)
- 【6年】「さくら」(森山直太朗)
- 【先生】「友～旅立ちの時～」(ゆず)

### 一番楽しかったことランキング～ベスト5～

子どもたちにお願ひして「今の学年で一番楽しかったこと」を書いてもらいました。結果は、修了式で子どもたちにも発表しました。4年の山の学校、5年の海の学校は「なるほど!」という感じですが、さすが鹿田小、「勉強」というのが上位に入っています。素晴らしいですね。

#### 【1年生】

- 第5位…学しゅうはっぴょう会
- 第4位…ながなわ
- 第3位…べんきょう
- 第2位…えんそく
- 第1位…あそんだこと

#### 【2年生】

- 第5位…長なわやなわとび
- 第4位…運動会
- 第2位…遠足・校外学習
- 第2位…勉強(九九など)
- 第1位…あそんだこと

#### 【3年生】

- 第5位…学習発表会
- 第4位…運動会
- 第2位…遊んだこと
- 第2位…長なわ
- 第1位…勉強

#### 【4年生】

- 第4位…6年生を送る会のダンス  
音楽発表会、校外学習
- 第3位…友達
- 第2位…遊んだこと
- 第1位…山の学校

#### 【5年生】

- 第5位…クラブ活動
- 第4位…運動会
- 第3位…長縄
- 第2位…遊んだこと
- 第1位…海の学校

### 学校長のつぶやき ～ルール～

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大のため、東京オリンピック・パラリンピックの開催がどうなるのか、毎日のように報道されています。一日も早く終息し、予定通り開催できればと思っています。

オリンピック・パラリンピックといえばスポーツですが、スポーツには必ず「ルール」があります。スポーツのルールは、その多くが最初から今のような形だったのではなく、スポーツをする人も見る人もみんながスポーツを楽しめるように、少しずつ変化しながら今のようなルールになってきたのだと思います。国や地域が違って、言葉が通じなくても、同じルールのもとであれば、だれでもスポーツを楽しむことができますね。

ルールは、スポーツに限ったことではありません。学校にも、社会にもルールがあります。例えば、学校には「廊下は走らない」「赤旗が出ているときは運動場で遊べない」など、また、「道路は人が右側、車は左側を通る」「赤信号では止まる」といった交通ルールもありますね。では、「道路にごみを捨てない。」、これはどうでしょうか。

私は1月の終わりごろから、鹿田小学校の周りを歩いてごみを拾っています。ごみが一つも捨てられていなかった日はありません。1か月半ほどで、拾ったごみが下の写真です。捨てられているのは、紙切れやお菓子の袋、ペットボトルや空き缶などですが、一番多いのは、タバコの吸い殻です。なかには、100本ほどのタバコの吸い殻が入っている紙袋が、校門前に捨てられていたこともありました。タバコですから捨てたのはもちろん大人です。子どもにルールを教えるべき大人がルールを守っていない。同じ大人として恥ずかしく思います。「捨てる場所がないから・・・」「自分一人ぐらい・・・」きっとそういう気持ちなのでしょうが、「道路にごみを捨てない」これも立派なルールです。空き缶、ガムの包み紙、たばこの吸殻など軽微なごみのポイ捨ても不法投棄になり「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」という法律によって罰せられるのだそうです。

鹿田小学校には、校内で廊下に落ちているごみをさっと拾う子、また、登校中に拾った空き缶を持ってきてくれた子もいます。素晴らしい子どもたちです。罰せられるからルールを守るというのではなく、公共の場所をみんなが気持ちよく利用できるよという気持ちで、ごみのポイ捨てはやめてほしいですね。

